

〇〇のみなさん、こんにちは。日本共産党です。日本共産党は、6月13日に行われる松戸市長選挙に、伊藤よいちろう市議会議員を擁立します。日本共産党の伊藤よいちろうが市長になれば、市民の声をよく聞きながら市立病院建て替えを進め、建て替え後の民営化の検討はキツパリやめます。日本共産党の伊藤よいちろうが市長になれば、高すぎる国民健康保険料を引き下げ、子どもの医療費を小学6年生まで無料にします。そのためにムダ使いをやめ、市長の退職金も凍結します。日本共産党の伊藤よいちろうと一緒に、市政を市民の手に取り戻しましょう。

みなさん、普天間基地撤去が政治の焦点となっております。沖縄のアメリカ軍海兵隊は、毎日残酷な訓練ばかりで、基地周辺では、心がすさんだ海兵隊員による凶悪犯罪が絶えません。海兵隊はイラクにも遠征していて、「抑止力」どころか、日本の防衛とは全く関係ない殴り込み部隊です。沖縄と心ひとつに、普天間基地の無条件撤去を実現しましょう。

日本共産党の志位和夫委員長は、党首として初めて訪米し、NPT再検討会議で核兵器廃絶を訴えました。志位委員長は、アメリカの、政府や議会の要人とも会談し、核廃絶と普天間基地の無条件撤去を訴えました。これは本来、鳩山首相がやらなければならぬことではないでしょうか。日本共産党は、被爆国の党、平和の党として、世界にも積極的に働きかけています。

みなさん、民主党政権は、普天間基地問題をはじめ、相次ぐ公約違反と「政治とカネ」の問題で、国民の期待を大きく裏切っているのではないのでしょうか。

労働者派遣法の改正では、不安定雇用をなくすどころか、派遣を固定化し、さらには、看護師なども専門職だと、派遣の対象にしようとしています。後期高齢者医療制度も、廃止を先送りしたうえに、うば捨て山の対象を65歳までひろげようとしています。こんなひどい公約違反はありません。また、財源確保では、米軍への思いやり予算や大企業の優遇税制には指一本触れず、財界や自民党といっしょに、閣僚も消費税増税をおおっています。政権が変わっても、大企業にも、アメリカにもモノが言えないようでは、政治は変わりません。

一方、自民党はどうでしょうか。有力な議員が相次いで離党し、新党を立ち上げていますが、新党とは名ばかりで、国民に退場の宣告を受けた自民党の古い政治を引きずる党ばかりです。「第三局」を標榜する「みんなの党」も、貧困と格差を広げた「構造改革」をもっと徹底せよという党です。

いま国民のくらしは深刻さを増しています。最大の原因は不安定な雇用と低賃金です。派遣などの非正規雇用はこの十年間で、働く人の3人に1人に、女性や青年は2人に1人にまで広がりました。その結果、国民全体の収入は毎年下がりがり続けて、10年前と比べると27兆円も減っています。逆に大企業はこの十年間で、ため込んだ利益は142兆円から229兆円に膨らんでいます。

大企業の過剰なため込みは、雇用と下請けの中小企業に還元し、冷え込んだ国内需要を高めることが一番の景気対策です。日本経済のゆがみを正そうというのが日本共産党の提案です。

みなさん、いまでも高すぎる国民健康保険料が大問題です。その一番の原因は国の出すべきお金を半分に削ったためです。国の負担を元に戻せばひとり1万円の引下げができます。子どもの医療費も、国の責任で、せめて小学校入学前まで無料にすれば、松戸市でも中学卒業までの無料化が実現できます。国の政治を変えれば、こうした切実な市民の願いを実現することができます。

国民のいのちと暮らしを守るという一致点で、これまで自民党を支持してきた方々と日本共産党との共同や交流が広がっています。千葉県でも、県の医師会と志位委員長や地方議員との、はじめての正式懇談会が行われました。今度の松戸市長選挙で伊藤よいちろうを市長にしてください、さらに7月の参議院選挙で日本共産党の議席を何としても増やしていただき、いっしょに政治を前にすすみましょう。

最後に演説会のご案内です。5月28日午後七時から、柏市民文化会館におきまして、日本共産党大演説会をおこないます。志位和夫委員長がお話します。ぜひご参加ください。長い間のご清聴・ご協力、ありがとうございました。